

第6回松山駅まち会議 議事概要録

開催日時：令和7年6月4日（水）午前9時から午前11時
場 所：市役所別館6階 第3・第4委員会室
及びオンライン開催（ZOOM）

午前9時 開会

《事務局 あいさつ》

- ・あいさつ

《委員紹介》

- ・司会より、委員及び欠席委員の紹介

《座長選出》

【A委員】

- ・羽藤委員を推薦

《座長あいさつ》

【羽藤座長】

- ・駅まちを取り巻く環境が、この会議を立ち上げた頃とはかなり激変してきている。
- ・松山市に限ってみても、アリーナ、あるいはバスタプロジェクトの議論がかなり熟度を増しており、これらの機能をこの駅まちという空間の中で、特に広場空間をどのようにうまく使いながら、東口と西口の関係を、松山らしい形で再整理していくのかということが松山駅まち会議には託されている。
- ・都市間競争も著しく、新しい装いを作っていくことが必要な時代となっていることから、競争力のある松山らしい駅まちをどうやって作っていくかについて、議論いただきたい。

《議事（1）駅周辺まちづくりの状況報告について》

【事務局】

- ・資料1「駅周辺まちづくりの状況報告について」、
資料1-1「都市再生緊急整備地域について」、
資料1-2「JR松山駅周辺まちづくりの将来像」、
資料1-3「松山市車両基地跡地広域交流拠点施設基本計画（案）の概要」に基づき、報告

【Bオブザーバー】

- ・都市再生緊急整備地域に指定されることで、容積率の緩和や税制支援など、民間開発の促進が期待できる。今後は都市再生安全確保計画の策定も求められており、特にインバウンドの増加も見据えて、災害時の避難や一時滞在の計画をしっかりと立てておく必要がある。松山駅周辺が

防災拠点として機能するための具体的な計画を進めていただきたい。

【A委員】

- ・能登半島地震が起こったときに、交通手段の問題がかなり課題になった。防災拠点としてのコンセプトでは、受け入れるだけではなくて、物資の集積や支援の拠点としての機能も持たせることが必要。交通面も含めて、防災拠点としての強化をしっかりと検討していただきたい。

≪議事（2）駅周辺の交通機能について≫

【事務局】

- ・資料2「駅周辺の交通機能について」に基づき、説明

【C委員】

- ・バスタプロジェクトを進めるにあたり、バス乗降場の規模や施設内容については、交通事業者の意向や運行本数なども踏まえて慎重に検討する必要がある。県道の交差点処理やバリアフリー、安全性の確保も非常に重要だと考えている。
- ・県道の機能強化については、東口の駅前広場の利用形態がどういう形になるのか、交差点処理がどうなるのか、周辺の施設計画が大いに関係するところがある。交差点をどう処理していくかは利便性、バリアフリーなどの安全性に大きく影響するため、市と連携して進めていきたい。

【Dオブザーバー】

- ・バスタプロジェクトは、まちづくりとの連携が重要。駅の利便性を確保する、交通の円滑化を目指すという意味では、この施設がどのような配置計画になるのかということが非常に重要。松山のバスタプロジェクトは今年度4月から調査段階が1段階上がった。これから配置計画を考える上では需要予測が重要で、まちづくりをどのようにしていくのかも重要。愛媛県、松山市と連携して時間をかけながら取り組んでいきたい。

【E委員】

- ・現在の駅前東側の横断歩道が大変危険な状況。南側の都市間バスの降車場には、スクールバスも流入し、朝夕は一般車両もかなり入ってくる。近年はインバウンドが拡大しており、より広域の交通拠点としての機能を考えていく必要性がある。
- ・インバウンドや広域交流拠点の利用者は、松山に不慣れな方も多し。駅から市街地への動線が分かりやすく、安全な歩行空間を確保することが大切。市街地への人の流れや回遊性も意識してもらいたい。

【羽藤座長】

- ・歩行者と公共交通が分担しながら、まちなかに向けてどうやって人を流していくのか、安全性を担保しながらどう実現していくかということが重要だという的確な指摘があった。大手町通りとの連携なども重要になってきているのではないかということを感じた。

《議事（3）基本設計業務委託（西口広場）について》

【事務局】

- ・資料3「西口駅前広場について」に基づき、説明

【コンソーシアム】

- ・資料の補足説明

【F委員】

- ・今後アリーナ等も計画されている中で、西口広場を含めて、公共交通の利用者が時間を過ごせる、滞留できるような作りをしていただきたい。
- ・香川の高松でもアリーナができたが、駅利用者の滞留時間が非常に長くなっている。松山駅でもだんだん通り等を訪れる方がしっかり時間を過ごせるような空間づくりを是非お願いしたい。
- ・現在、雨の日はコンコースの中に雨が吹き込むような状況である。大屋根は、利用者が雨に濡れないような形状を検討していただきたい。

【コンソーシアム】

- ・アンブレラフリー動線について、大屋根とコンコースの間に二次的屋根を計画している。高架駅舎に直接接続することは構造的に難しいため、二次的屋根でアンブレラフリー動線を確保するという計画としている。また滞留ができるよう、ベンチを設けるということを検討した。

【G委員】

- ・快適な乗降も必要であるが、バリアフリーというのが一番重要と思われる。タクシーと身体障がい者の乗り場は、バリアフリーに配慮した上で詳細設計を行うということで、配置場所については問題ないと思われるが、東西交通機能の分担方針計画に関して、これまでの検討経緯の中で、当初、西口には貸切バスのバースを設けるというような話があった。東口駅前周辺も広いようでそれほど広くない。西口・東口で重複する施設があるように見受けられるため、東口の配置・配分は、西口の配置も踏まえて検討していく必要があると思われる。
- ・東西の連絡通路を整備すると、人の動きがかなり変わり、東西連絡通路のスペースも活用できるということは、交通利用者の増加、にぎわいの創出にはかなり影響が出ると思っている。

【羽藤座長】

- ・伊予鉄の路面電車のところにうまく繋げていく、バスに繋げていくということについて、東西で一貫性を持たせるところは重要だと思う。

【事務局】

- ・東西連絡線のイベントスペースなどでにぎわいを持たせていくということも、非常に重要なポイントと認識している。今後、そのようなことも踏まえて実施設計を進めていきたい。

【H委員】

- ・貸切バスは、降車後にバスは離れるが、乗車に関しては、バスはかなり早めにきて待機しているため、バスタプロジェクトについてはこのようなことも考えてもらいたい。
- ・駅舎整備により、トイレが駅の西側の方に設置されたが、距離が離れている。トイレの場所も考えてもらいたい。
- ・電停が近くにくると路面電車との乗り継ぎは非常に便利になる。インバウンドの関係も含めて、リムジンバスの乗り場などでスーツケースを持った利用者がかかなり多くなっているため、安全な空間づくりということを考えてもらえたらと思う。
- ・JR 松山駅から大手町通りを通過して、伊予鉄道郊外線の手町駅で乗り換える人も多くなっている。雨に濡れずに行けるような動線の確保なども検討してもらいたい。

【I委員】

- ・タクシーについては、利用者の乗降がスムーズにできることが重要。西口の配置はほぼ案は固まって、微調整程度しかできないとは思われるが、乗り場2台、降り場1台というところを、できれば乗り場3台など、増やしていただきたい。
- ・東口に関しては、まだこれからの検討だとは思いますが、スムーズな乗り降りができることをお願いしたい。

【J委員】

- ・舗装を伊予絣の柄で表現すること自体はいいと思うが、幾何学模様を目印にすること、その上を土足で歩くことについて、伝統産業に従事をされてる方々がどう思われるのか、配慮した方がいいのではないかと思う。
- ・駅が綺麗になって、東西に分散したことで、東側の人のにぎわいは少なくなって、商業的には厳しい状況。
- ・観光のインバウンドを増やすというが、勝手に増えるものではなくて施策で増やすことだと思われる。商業施設整備やアリーナ構想とどのように連携させていくのか、もう少しはっきり見えてきた方が、イメージしやすいのではないかな。

【羽藤座長】

- ・伊予絣については、先日、鍵谷祭というのが開かれていたが、そういった方々とのワークショップのようなことも今後考えながらうまく盛り上げていただけたらと思う。

【K委員】

- ・道後温泉までの交通について、観光客が楽に移動ができるという点、西口広場も具体的なものができて非常に期待している。
- ・近年インバウンドが非常に増えているが、駅の周辺開発によって満足度が上がるのではないかなということも期待している。特に日本的なものについて、インバウンドの方は期待されている。植栽で桜とか紅葉とか、使いづらいところもあるかもしれないが、満足度が向上するのではないかな。

【L委員】

- ・人が集まってくるということが西側ではこれまでなかった。駅裏という感覚で見られていたまちが非常に明るくなってきた。そこにイベント広場ができ、人が集まってきたら、明るくて楽しいまちになるのではないかと期待している。
- ・アリーナができることで、人がより集まってきてありがたいことではあるが、皆、車で来られると思われる。地元としては、交通渋滞、駐車スペースが十分ないと違法駐車が出てくるのではないかという懸念があるので、十分気をつけて開発していただきたい。

【M委員】

- ・西口は計画が着々と進められているが、東口は今かなり寂しい状態。当初計画では、今年度中に設計が完了して、来年度から着工と聞いていたが、進捗状況についてお伺いしたい。1日も早く、東側についても具体的なプランを立てていただいて、にぎわいを取り戻していただきたい。
- ・JRの駅ビルについてもできるだけ早く計画をたてていただきたい。
- ・現在、東側の交通の流れが複雑で、交差点も非常にわかりにくく、危険な状態が続いているため、1日も早い整備をお願いしたい。
- ・一般車駐車場について、西口に駐車場を確保する計画になっているが、現状では東側にしか駐車場がなく、利用者にとってはかなり不便で、混雑している状況が多々見受けられる。東口は一時的な駐車場だけでなく、長時間駐車ができるような駐車スペースを検討いただきたい。

【羽藤座長】

- ・駐車場に関しては、アリーナも含めて大規模な開発というのがあるため、トータルでどのように考えるのかということが必要。同時にパークアンドライドのような使い方も考えていかないと、道路の容量的にはもたないところも出てくると思われる。
- ・国・県・市で連携して検討していくことが必要。

【事務局】

- ・東口にでも短時間駐車場を整備することを考えている。台数は今後検討していくが、送迎待ちもあるため、一定数必要だろうということは認識している。送迎以外に商業施設やアリーナなどに関する駐車場も必要になってくるだろうが、それは別途検討したいと考えている。

【N委員】

- ・新玉地区には、公民館と小学校と中学校があり、南海トラフ地震に対して、いかにして備えるかというようなことで現在も議論を進めている。アリーナを建設される場合、防災拠点という形で帰宅困難者を受け入れる、それ以外の防災もこれから検討されるということで、大変ありがたく、心強い。新玉地区の防災と連携を行っていただきたい。
- ・駅広東西連絡線等のイベント広場にはテントを張ることは可能なのか。

【事務局】

- ・ イベントスペースについては、テントもちろん、キッチンカーなども入れてイベントが行えるようにすることを考えている。

【羽藤座長】

- ・ 平時からキッチンカーや炊き出しなどをやっておくと非常時の備えにもなる。新玉地区の方々と連携して、新しくできる西口広場等で使っていただけるようなことを検討いただきたい。

【O委員】

- ・ 高架ができると騒音がひどくなると思っていたが、以前よりも静かで、大変喜んでいる。また、近辺の道路横断も、踏切がなくなって大変便利になった。
- ・ 高齢クラブの立場で言うと、計画が非常に遅い。本日の資料も、車両基地跡地計画案のところも、まだ「案」になっている。
- ・ 防災については素晴らしいことだと思うが、現在どのように進んでいるのかどうか、計画が本決まりになるのかどうか聞かせていただきたい。

【事務局】

- ・ アリーナについては、現時点では計画「案」であるが、7月には計画を策定したいと考えている。
- ・ 周辺のまちづくりについても、民間開発を進めていくためのアドバイザー業務委託を発注予定で、今月末には契約をしたいと考えている。これによりまちづくりのモデルプランの作成等を進めていき、できるだけ早くビジョンを示せればと思っている。

【P委員】

- ・ 本日説明のあった誘導用ブロックを確実に設置していただけるということで安心した。
- ・ 障がい者というのは、視覚障がいだけではなくて、車いす利用者もいるし、聴覚障がい者もいる。案内表記を、聴覚障がい者から明確に見える位置にするなど、西口では、その辺の対応についても期待している。
- ・ 車椅子での通行に対しては、段差、スロープも角度を考え、優しく乗降できるような形で作っていただけたらと思う。
- ・ アリーナに関して、稼働率を上げていただきたい。たくさん利用したら、たくさん人が増える。たくさん人が増えたらたくさん経済が回る。他県が羨ましがる、他県にも誇れる松山駅になるのではないかと思うので、そういう視点で進めていただけたら。
- ・ 障がい者が置き去りにならないように対応をお願いしたい。

【羽藤座長】

- ・ 音の支援、視覚的な支援、スロープの設計等、詰めていくところはかなり多い。障がい者の方が使いやすい、全ての人にとって使いやすいという配慮を松山駅で実現していければ。

【Q委員】

- ・この計画が実現したら利便性も良くなり、景観も良くなり、大変素敵だと思う。
西口駅前広場の計画で、イベントスペースを設置されるということで、広場に遊びに来る方も増えるといいと思う反面、長時間イベントに参加すると、トイレにも行きたくなくなるであろうから、幼児用トイレや授乳室、多目的トイレ、大きなスーツケースを持った方が入りやすいトイレなど、費用負担は大きくなるが、重要なことだと思う。

【羽藤座長】

- ・丹下健三先生が、設計で一番大事なのはトイレだと言っていた。トータルでトイレの配置や容量の問題等、いろいろ考えていただければと思う。

【A委員】

- ・大屋根について、松山駅の駅名標の見え方が気になる。駅名表は、家に例えると都市の表札である。駅から少し離れると隠れてしまい、観光客等からは松山駅だとわからない。また、駅名を入れながら写真を撮影する方も多い。特定の場所以外からも見えるようにする工夫が必要ではないか。
- ・西口広場の舗装のグリッドについて、5mグリッドは少し大きいのではないか。例えば2.5mグリッドにすると、5mグリッドも可能でその柔軟性も増すのではないか。
- ・木については、どの程度、どのように置くのかについて、かなり慎重に考える必要がある。
- ・西口と東口の交通分担について、西口はほぼ完成形だとは思いますが、西口と東口の役割分担をもう少し綺麗に整える余地があるのではないか。都市再生緊急整備地域に指定され、都市間高速バスなどがどんどん入ってくるようになる。都市間であれば、西側はスペースの問題もあるが活用するという事も考えられる。一般車両も片側だけに寄せるとすることもできると思われる。レイアウトの余地がまだありそうな気がする。
- ・西口駅前広場の動線図について、動線の太さがすべて同じになっている。市の中心部から松山駅に向かう動線、松山駅をくぐる動線、また、駅からアリーナに向けた動線など、アリーナ関連の動線は太くなる。そういったことを踏まえて、動線設計を少し考える余地があるのではないか。
- ・アリーナは、イベントが何もなしの日常使いが必要。松山でもアリーナにワインを飲むことができる施設を入れて、公共交通利用へ誘導するなど、そういうところも含めて考えておくといいのではないか。

【コンソーシアム】

- ・舗装のグリッドについては、ご指摘いただいた2.5mぐらいのちょうどいいスポットが作れるように5mという寸法を設定している。1分の1のスケールで実際の道路空間でテストをし、確認した結果、現実味のある非常にいい寸法だと考えている。

【羽藤座長】

- ・東西の駅機能の役割、JR松山駅の役割が今後変わってくるということをご指摘のとおり。アリーナの計画等が定まってくるのが前提となるが、考えていただければと思う。

【E委員】

- ・東と西がまちづくりでどう繋がっていくかということがかなり重要。住民の方々の意見、利用しない方々の動線もかなり重要で、コンコースは大変明るい空間になっているが、東西連絡線も子どもたちなどにとって明るい空間として、東西の動線、住民の方々が抜ける空間として確保していくということはかなり重要だと思う。
- ・イベントスペースに対する期待もかなりある。多様な方々が関わって育てていくにぎわいなど、運用のあり方を地元の関係者や民間事業者の方々と想像しながら設計していくことが必要。
- ・これだけのイベントスペースを回すときに気になるのが荷ほどき場。設計の面積から考えると2台が限界だと思うが、荷ほどき場から誘導用のブロックと菊間瓦のベンチが迫っていて、荷ほどき場から物がどんどん上がっていくときに、障がいのある方々が安全を確保しながら通り抜けていくことやベンチにいる方と迫っている。いろんな方々が荷物を上げ下ろししていくところのちょうど間に誘導ブロックが来ているので、もう少し工夫していただく必要があるかと思う。
- ・まちの回遊、アリーナ、インバウンドなど、様々な駅の機能が加わっていく。市街地全体の観光をどうしていくかということも考えていく必要がある。駅まちとは別の話かもしれないが、観光計画も検討しながら、連携していく必要があるのではないかな。

【羽藤座長】

- ・荷下ろしの現実的な使い方と誘導ブロックの関係などは、ご指摘のとおり。今後の設計のところでは是非反映していただきたい。

【C委員】

- ・今日の駅まち会議で模型を見たときに、やはり西口なんだと。東口はまだ何もないということが一点。西口は具体的なイメージができたが、いつできるのか、素朴に感じたところではないか。県として大きなプロジェクト、大規模事業を進めるにあたっては、やはり最終的にどうなのかというような具体的な最終形、どう進めていくのか、いつまでにできるのかなど、都度示していきながら、皆さんと一緒に共有して進めていくことが大事ではないか。
- ・新駅舎ができ、旧の駅舎が今年度なくなる予定ということは、東口がさらに更地になる。西も東も、しばらくこの状態が続く、ということが懸念される場所である。県都の陸の玄関の松山であるため、にぎわいと活力のある松山駅を1日も早く実現していただきたい。
- ・利用者の視点に立って、バスの乗り継ぎなどの応急対応なども含めて、スピード感を持って取り組んでいくことが大事。アリーナやバスタプロジェクト、商業施設などの開発がいろいろあり、示されにくいところはわかるが、全体のビジョンを早く示していただきたい。スケジュール感を公表することが大事ではないか。
- ・愛媛県としても、松山市、JR 四国など、関係者が連携して取り組みを進めていきたいと思う。

【R委員】

- ・駅が発展することは、地元民としては喜ばしいこと。県警側として懸念するところはやはり需要が増えるということ。交通流がかなり増加するものと思われる。現在でも松山市内でかなり渋滞が予想されており、交通事故も多く起こっている。そういった中でいかに円滑化するか、信号機の時間の調整、新しくできる西側の道路の交通規制の状況など、道路管理者としっかり協議して進めたい。

【Sオブザーバー】

- ・まちづくり GX ということで、脱炭素等の推進を国の施策として進めているところ。緑の空間づくりが重要になってくる。西口の広場のみならず、東口の広場でも緑の空間づくりが一つポイントになるのではないか。詳細設計やまちづくりの将来像に役立てていただければ。
- ・松山市ではフィールドミュージアム構想を打ち出されている。そういった目線を持ちながらデザインを考えていくというのが非常にポイントではないか。

【Tオブザーバー】

- ・外国の方も含めて、いろいろな人が来られる中、バリアフリーの視点、配慮というのを検討いただけたらと思う。
- ・東口は、バスタプロジェクトもあり、なかなか提示できない部分があると思うが、路面電車の付け替えなどが円滑に進むよう、また、利用者にとって不便にならないよう、工事期間中の利用者の移動や使い方に十分配慮した上で、進めていただけたら。

【Dオブザーバー】

- ・全体構想を見せていただいた中で、バスタプロジェクトをどのように位置づけるのかというところが一番肝要。
- ・令和9年度に松山で、日本国内で初の Velocity という自転車の国際会議が開かれる。交通結節点の利用者には自転車目線もある。多様化されている利用者の中で、どのようなまちづくりを行なっていくのが重要ではないか。
- ・インバウンドという視点で言えば、ユニバーサルデザインとしてのサインの多言語化などがある。今後具体化していくためにも、まずは全体構想をどうしていくのかというところが重要。国としても県、市と連携をして、鋭意協力を図っていきたい。

【Bオブザーバー】

- ・本日の駅まち会議では西口広場がフォーカスされているが、もう少し広域的な交通結節点ということが一つテーマとしてあろうかと思う。模型だけではなく、3D 都市マップを活用して、広域的なエリアでイメージを共有してはどうか。障がいを持たれてる方、高齢者の方の特徴も踏まえた人流シミュレーションや防災シミュレーションなどを 3D マップ上で作成し、市民に将来像を示すこともできるのではないか。
- ・大きな体育館の一つとして県立武道館が一駅向こうにある。アリーナができるとするならば、同じような施設が二つあることが、どれだけのシナジー効果を生むのかということも、連携

して、頑張っていたいただければと思う。

- ・防災については備蓄を考えないといけない。後々になって、どこに保管するのかということにならないよう、早い段階で、備蓄について考えておいた方がよいと思う。
- ・イベント広場を作れば人が来るというわけではなく、いろいろな仕掛けが必要。いろいろな工夫をして大勢の方に来ていただけるように頑張っていたいただければと思う。

【羽藤座長】

- ・非常に今、令和の松山の都市基盤の大改革期だと思っている。市駅、松山駅の基盤が変わり、都市再生の特区ということで、都市基盤が大きく変わっていく中で、もう少し落ち着いた環境で、西口広場をこうしたい、ああしたいということも、地元の方々も含めて議論しながら綿密に進めていただきたい。あまりにも周辺的环境変化が大きいということもあり、いろいろな意見があると思うが、どうやって交通整理していくのかということが大切な局面に来ているということを理解いただけたのではないかと思う。いずれにしても、西口広場を、早急に実施設計から施工という形で、地元の方々に使っていただける広場にしていけるよう、皆様一同で頑張っていければと思う。東口についても同様、アリーナのことだけではないが、周辺的环境変化も含めて進めていければと思う。

午前11時 閉会